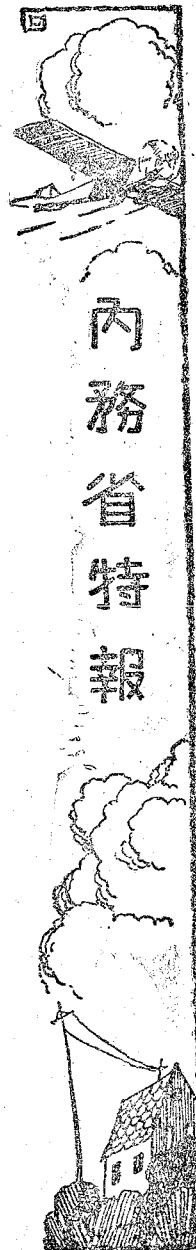


内務省特報



◎内務省告示第五百八號

道路法第二十條第二項ノ規定ニ依リ本大臣ニ於テ新設又ハ改築

ヲ爲シタル國道ニシテ工事ノ終了シタルモノ左ノ如シ

昭和十七年七月十五日

内務大臣 湯澤三千男

工事終了ノ期日

昭和十七年七月十五日

路線名
二 號
自廣島縣佐伯郡小方村
至山口縣岩國市大字裝束

十 號
自長野縣更級郡中津村
至同縣同郡稻里村

◎七月七日内務省發表地方官の任命左の如し

任奈良縣知事 厚生省會計課長 堀田健男
任山梨縣知事 大阪府書記官總務部長 多湖實夫
任福島縣知事 臺灣總督府警務部長 荒木義夫

補警視廳警務部長 補總務部長(一)
補大阪府總務部長 補福岡縣總務部長
補內務省行政課長 補內務省振興課長(三)
和歌山縣警察部長 大野連治

補內務省監查官地方局勤務

免兼行政課長 內務省文書兼行政課長

補內務省外事課長 警視廳特高部長 宮田笑内

任山形縣知事 警視廳警務部長 斎藤亮一
任愛媛縣知事 情報局情報官兼内務書記官 福本柳悟
任高知縣知事 福岡縣書記官總務部長 沖野悟
情報局情報官 橋本政實

兼補内務事務官警保局勤務

内務省企畫課長 西廣忠雄 紀

北海道廳警察部長 泉守

内務省企畫課長 岡本

内務省企畫課長 長崎縣總務部長 岡田包

内務省企畫課長 厚生省生活課長 中島賢藏

山口縣經濟部長 郡祐一

和歌山縣警察部長 大野連治

補愛知縣學務部長	琦玉縣學務部長	大政黨賛會	永野芳辰
免兼學務部長	靜岡縣總務兼學務部長	(東京)地方事務官	中西久夫
補靜岡縣學務部長	山口縣學務部長	厚生省職業局總務課長	佐伯敏男
補經濟部長	渡邊信男	補福井縣總務兼學務部長	
補岐阜縣經濟部長	鐵郎	補福井縣警察部長	
免兼學務部長	大政黨賛會	內務書記官	鈴木琢二
補長野縣學務部長	市來	內務事務官	鈴木琢二
補福島縣學務部長	鐵郎	內務事務官	鈴木琢二
補經濟部長	渡部宏綱	興亞院文化部第一課長	森本雅雄
補長野縣學務部長	武下一郎	(茨城)地方事務官	井口正夫
補福島縣學務部長	一一郎	(兵庫)地方事務官	田中唯重
補長野縣學務部長	宍口寬夫	兼補學務部長	
補福島縣學務部長	引田重夫	補富山縣警察部長	
補長野縣學務部長	西村五郎	補富山縣總務部長	
補福島縣學務部長	小牧孝雄	補富山縣學務部長	
補長野縣學務部長	福井縣學務部長	補富山縣學務部長	
補福島縣學務部長	高崎縣警察部長	補富山縣學務部長	
補長野縣學務部長	加藤清一	補富山縣總務部長	
補福島縣學務部長	栗原隆平	補富山縣學務部長	
免兼經濟部長	宮崎謙太	補廣島縣總務部長	
補岩手縣警察部長	鈴木直巳	補廣島縣經濟部長	
補青森縣總務兼學務部長	金山國治	補廣島縣警察部長	
補山形縣經濟部長	河野義信	補廣島縣學務部長	
補山形縣警察部長	原信次郎	補山口縣學務部長	
補山形縣警察部長	河野義信	補山口縣經濟部長	
補山形縣警察部長	渡邊男二郎	石川縣經濟部長	
補山形縣警察部長	渡邊男二郎	熊本縣警察部長	
警視廳警視	定	青森縣學務部長	
岡崎英城		內閣東北局書記官	
茨城縣警察部長		茨城縣警察部長	
山路		山路	

補和歌山縣學務部長	佐賀縣學務部長	鶴田 義隆
補和歌山縣警察部長	(神奈川)地方事務官	高野 忠勇
補德島縣總務兼學務部長	内務事務官	櫻井 三郎
補德島縣經濟部長	(大阪)地方警視	三谷 重忠
兼學務部長	香川縣總務部長	吉垣壽一郎
補愛媛縣總務部長	神奈川縣學務部長	桃井 直美
補愛媛縣經濟部長	(大坂)地方事務官	鈴木 允
兼補學務部長	(兵庫)地方事務官	藤枝 泉介
補大分縣學務部長	高知縣總務部長	藤野 英陽
補佐賀縣總務兼學務部長	(兵庫)都市計畫地 方委員會事務官	佐々木 厚義
補熊本縣學務部長	關東局內務部長	浦 長 薦
免兼經濟部長	島根縣學務部長	松岡 一郎
補熊本縣警察部長	熊本縣學務部長	高畠 資吉
兼補學務部長	警視廳消防部長	廣岡 謙二
補宮崎縣警察部長	宮崎縣總務部長	坂田 喜一郎
補鹿兒島縣總務部長	警視廳事務官	坂本 徳太郎
兼補學務部長	皇宮警察部長	池田 長吉
補鹿兒島縣經濟部長	愛媛縣學務部長	松野 貞夫
兼補學務部長	沖繩縣總務部長	福吉 勲二
	福島縣知事	江邊 清夫

依願免本官(名通)

(總務)千葉縣書記官 驚野 重光
(總務)群馬縣書記官 酒井 榮吉

親を思ひ、祖國を思ひ、そしてまた門下の同志に對しても、
このやうな、なまくしい愛情に至誠をつらぬきとほした最も
悲しい現實の人間的苦痛の増端の中を叩き餞へられて遂に
最も高い一個不朽の世界にまで自己生命を生きつけた一人
の人間の魂の發展、とりわけ幕末の危機をもたらした祖先以
來の封建武士一般の罪を自己一身に荷び進んで萬人の罪の自
覺を促さうとした美しい指導的世界に重點をおいた云々

(岡不可止の言)